

岩手産業保健総合支援センター

《2お知らせ》にもありますが、2月24日にストレスチェック制度解説セミナーが、岩手県水産会館大会議室で行なわれます。実施者は、厚生労働省から委託を受けた東京海上日動リスクコンサルティング（株）です。

受講料は無料です。

平成27年12月から施行されておりますストレスチェックの内容等について、詳しく知りたい方は受講してみたいかでしょうか。

昨年の12月から、「いわて年末年始無災害運動」が実施されており当センター事務所にもものぼり旗を設置しています。

平成27年の労働災害統計（速報値）を見ると、全国的にも、岩手県でも死傷者数、死亡者数とも減少傾向にあるようです。

岩手県の労働災害件数は、平成22年から5年連続して労働災害が増加し、平成26年は1,478件となっています。

東日本大震災があったとはいえ、5年連続で労働災害が増加するのは過去に例がない事態です。

平成27年は、速報値で対前年比120件程の減少ですから、増加傾向に歯止めかかるともかもしれません。

第12次労働災害防止計画では、労働災害件数を平成29年に1,161件とすることが目標となっております。平成27年の確定は出ていませんが、このまま推移すれば、残り2年（28・29年）で200件程度の減少が必要となるようです。

27年の減少件数が、今後2年続けば達成が可能ですが・・・

労働災害といえば、岩手県内で、屋外で作業中に低体温症になり死亡したという死亡災害事例があったように記憶しています。（詳しいことは忘れましたが。）

「限界を超えて寒い環境・状態にさらされると体温が著しく低下し、直腸温度が20℃以下になると死亡することもある。」と何かの本に書いています。

1月25日は、現旭川气象台で114年前に日本の最低気温「氷点下41℃」を観測した日で、「日本最低気温の日」なのだそうです。

そんな記事を見ながら、昔の死亡災害事例を思い出しました。温かい年末年始ではありましたが、冬の寒さはこれからです。

くれぐれもご油断なく。